

【図表1】ランキングごとに異なる大学の顔ぶれ～THEの各ランキングにランクインした日本の大学例

世界版2020

順位	区分	教育機関
=36	国	東京大学
65	国	京都大学
251-300	国	東北大学
251-300	国	東京工業大学
301-350	国	名古屋大学
301-350	国	大阪大学
351-400	私	産業医科大学
401-500	私	藤田医科大学
401-500	国	北海道大学
401-500	国	九州大学
401-500	私	帝京大学
401-500	国	東京医科大学
401-500	国	筑波大学
501-600	私	関西医科大学
501-600	公	横浜市立大学
601-800	公	会津大学
601-800	国	広島大学
601-800	私	東京慈恵会医科大学
601-800	私	慶應義塾大学
601-800	私	近畿大学
601-800	国	神戸大学
601-800	私	久留米大学
601-800	私	日本医科大学
601-800	公	東京都立大学
601-800	私	早稲田大学
801-1000	私	愛知医科大学
801-1000	国	千葉大学
801-1000	国	浜松医科大学
801-1000	私	兵庫医科大学
801-1000	私	順天堂大学
801-1000	国	金沢大学
801-1000	国	熊本大学
801-1000	公	京都府立医科大学
801-1000	国	室蘭工業大学
801-1000	国	新潟大学
801-1000	国	岡山大学
801-1000	公	大阪市立大学
801-1000	私	立教大学
801-1000	公	札幌医科大学
801-1000	私	聖マリアンナ医科大学
801-1000	国	東京農工大学
801-1000	私	東京医科大学
801-1000	私	東京理科大学

ほか「1001+位」に67大学がランクイン

アジア版2019

順位	区分	教育機関
8	国	東京大学
11	国	京都大学
30	国	東北大学
=31	国	東京工業大学
34	国	名古屋大学
40	国	大阪大学
58	国	九州大学
66	国	東京医科大学
68	国	北海道大学
=74	私	藤田医科大学
=76	国	筑波大学
=78	私	帝京大学
=80	公	東京都立大学
=116	私	日本医科大学
127	公	横浜市立大学
=138	私	慶應義塾大学
147	私	立教大学
=148	国	広島大学
=156	国	神戸大学
=160	私	会津大学
=166	私	近畿大学
=166	私	早稲田大学
=168	私	千葉大学
=173	国	順天堂大学
=176	私	東京慈恵会医科大学
=186	私	兵庫医科大学
=188	国	東京農工大学
=193	私	東京医科大学
=200	国	金沢大学
=200	私	岡山大学
201-250	国	浜松医科大学
201-250	国	香川大学
201-250	私	関西医科大学
201-250	国	熊本大学
201-250	公	名古屋市立大学
201-250	国	新潟大学
201-250	公	大阪市立大学
201-250	国	信州大学
201-250	私	徳島大学
201-250	私	東京理科大学
251-300	私	愛知医科大学
251-300	国	愛媛大学
251-300	国	電気通信大学
251-300	国	群馬大学
251-300	国	高知大学
251-300	国	九州工業大学
251-300	国	長崎大学
251-300	公	大阪府立大学
251-300	国	佐賀大学
251-300	国	埼玉大学
251-300	私	昭和大学
251-300	私	東邦大学
251-300	国	豊橋技術科学大学
251-300	国	山形大学
251-300	国	山梨大学
251-300	国	横浜国立大学

ほか「301-351位」に23大学、「351-400位」に18大学、「401+位」に5大学がランクイン

日本版2020

順位	区分	教育機関
1	国	東北大学
2	国	京都大学
=3	国	東京大学
=3	国	東京工業大学
5	国	九州大学
6	国	北海道大学
7	国	名古屋大学
8	国	大阪大学
9	国	筑波大学
10	公	国際教養大学★
11	私	国際基督教大学★
12	国	広島大学
13	私	早稲田大学
14	私	慶應義塾大学
15	国	神戸大学
16	国	一橋大学★
17	国	長岡技術科学大学
=18	国	金沢大学
=18	国	東京農工大学
20	私	上智大学
=21	私	立命館アジア太平洋大学★
=21	国	東京外国語大学★
23	国	千葉大学
24	公	会津大学
25	国	お茶の水女子大学
26	国	京都工芸繊維大学
27	国	熊本大学
28	国	岡山大学
=29	国	東京海洋大学
=29	国	東京医科大学
31	国	横浜国立大学
32	国	豊橋技術科学大学
33	私	立命館大学
34	私	豊田工業大学★
35	私	芝浦工業大学
=36	私	神田外語大学★
=36	公	横浜市立大学
38	国	九州工業大学
39	私	東京理科大学
40	公	福岡女子大学★
41	国	電気通信大学
42	公	東京都立大学
43	国	長崎大学
44	私	津田塾大学★
=45	私	同志社大学
=45	私	関西学院大学
=47	国	秋田大学
=47	私	立教大学
=49	私	学習院大学★
=49	公	大阪市立大学
51	公	神戸市外国語大学★
52	国	信州大学
=53	私	明治大学
=53	国	新潟大学
55	国	帯広畜産大学★
56	国	名古屋工業大学
57	公	大阪府立大学
58	国	福井大学
59	国	鳥取大学
60	私	中央大学
61	国	愛媛大学
=62	私	関西外国語大学★
=62	私	聖路加国際大学★
64	私	東洋大学
=65	私	南山大学★
=65	国	山形大学
=65	国	山口大学
68	私	法政大学
69	国	徳島大学
=70	公	公立はこだて未来大学★
=70	国	宇都宮大学

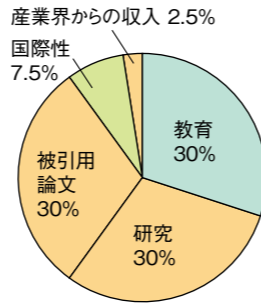
72位以降はP.24～参照のこと

- 国立大学
- 公立大学
- 私立大学

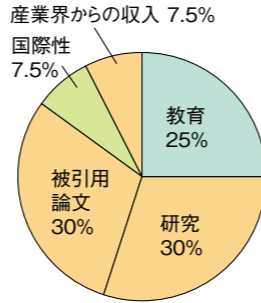
*[★]は日本版のみにランクインしている大学
 *「=」は同順位の大学あり
 *同ランクでの掲載順は原則大学名の英語表記のアルファベット順

各ランキングの分野と割合

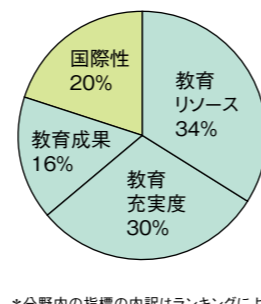
世界版2020



アジア版2019



日本版2020



*分野内の指標の内訳はランキングにより異なる場合がある

（教育カブランキングと日本大学ランキング）

Japan University Rankings



教 ↓ 育

大学のパフォーマンス

研究 →



← 社会貢献



Times Higher Education (THE) の世界大学ランキング日本版が2020年3月に発表された。各大学の教育力の特色を、第三者の視点から国内外に示しているこのランキングの結果を学生募集を目的とするブランディングに生かさない手はない。

Report THE世界大学ランキング日本版2020 結果分析

市場縮小期に不可欠な教育力のエビデンス

4回目の発表を迎えたTHE世界大学ランキング日本版（以下、日本版）。ランキング校数は前回より65校多い、278校（国立67、公立44、私立167）に。改革に活用する大学は年々増えており、「日本版によって他大学と競える舞台ができた」「ほとんどの高校の進路指導室にランキング表が掲示されているのに本学の名前がないのは問題だ」といった大学関係者の声も聞かれている。

教育力を可視化する日本版は、研究力重視の世界版とは結果の相が異なる。世界版では東京大学（36位タイ）・京都大学（65位）に比べ順位に差のあった東北大学が、日本版では国際性のスコアを伸ばし、初の1位を獲得した。

ランキングやスコアは、各大学の特色を雄弁に語るデータだ。人口減少の折、2020年度入試では私立大学の志願者数が14年ぶりに減少した。さらにコロナ禍により、募集活動は大幅な見直しを迫られている。今こそ教育の質を高め、それを客観的なデータを用いてステークホルダーに適切に伝え、学生募集に生かす必要があるだろう。

【図表3】分野別ランキングTOP20

■ 国立大学 ■ 公立大学 ■ 私立大学 *「=」: 同順位の大学あり *「-」: 順位が151位以下のためスコア非表示 *同順位の場合は、アルファベット順に掲載

教育リソース

2020順位	2019順位	区分	教育機関	2020スコア	2019スコア
1	1	国	東京大学	86.5	87.0
2	2	国	東京医科歯科大学	84.2	84.9
3	4	国	東北大学	84.1	82.5
4	3	国	京都大学	83.4	84.4
5	NR	公	京都府立医科大学	82.8	-
6	NR	私	兵庫医科大学	81.2	-
7	5	国	浜松医科大学	80.6	81.9
8	10	国	東京工業大学	80.1	77.5
9	NR	国	滋賀医科大学	78.6	-
10	6	公	札幌医科大学	78.5	79.0
11	=8	国	名古屋大学	78.2	77.6
12	7	国	大阪大学	78.0	78.8
13	=8	公	奈良県立医科大学	77.3	77.6
14	16	私	豊田工業大学	76.8	72.6
15	NR	公	福島県立医科大学	76.5	-
16	11	国	九州大学	76.4	76.9
=17	13	私	愛知医科大学	75.7	76.0
=17	12	私	日本医科大学	75.7	76.2
19	NR	私	大阪医科大学	75.5	-
20	=14	国	筑波大学	74.1	74.3

教育成果

2020順位	2019順位	区分	教育機関	2020スコア	2019スコア
1	1	国	京都大学	98.4	98.4
2	4	国	大阪大学	97.9	96.6
3	3	国	九州大学	97.4	96.9
4	7	国	東北大学	96.6	95.6
5	6	国	名古屋大学	96.1	95.7
6	11	国	筑波大学	94.4	90.4
=7	2	国	東京大学	94.1	97.3
=7	8	国	北海道大学	94.1	93.7
9	5	私	慶應義塾大学	93.7	95.9
10	9	私	早稲田大学	93.0	93.6
11	10	国	東京工業大学	92.8	93.5
12	13	国	神戸大学	83.4	80.0
13	14	国	広島大学	78.4	74.0
14	12	国	一橋大学	76.6	81.4
15	15	国	横浜国立大学	72.6	73.6
16	16	国	千葉大学	72.0	72.9
17	17	公	国際教養大学	71.0	72.0
18	19	私	東京理科大学	69.5	71.6
19	18	私	東京農工大学	69.4	71.8
20	25	私	立命館大学	68.5	65.8

*データ提供: Times Higher Education (THE)

「国際性」は、世界版の「国際性」とも共通性のある分野だが、日本版は「日本人学生の留学比率」「外国語で行われている講座の比率」という独自の項目が採用されている点が特徴だ。大学のさまざまな特色を把握できることから、THEは総合ランキングだけでなく、分野別ランキングの検証を強く推奨している。

教育充実度

2020順位	2019順位	区分	教育機関	2020スコア	2019スコア
1	1	公	国際教養大学	93.0	92.4
2	2	私	国際基督教大学	90.5	90.4
3	3	国	筑波大学	84.9	84.5
4	=5	私	立命館アジア太平洋大学	84.3	82.8
5	7	国	北海道大学	83.4	81.7
6	4	私	上智大学	82.8	83.5
7	=5	私	神田外語大学	82.6	82.8
8	10	国	東京外国語大学	81.5	80.1
9	=25	国	東京工業大学	80.8	76.7
10	8	国	東北大学	80.6	80.9
11	9	国	名古屋大学	80.5	80.3
12	23	国	九州大学	79.9	77.2
13	=11	国	東京大学	79.8	79.9
14	14	私	東洋大学	79.5	79.1
=15	13	私	立教大学	79.4	79.6
=15	=20	私	津田塾大学	79.4	77.5
17	=11	私	早稲田大学	79.3	79.9
18	17	国	広島大学	79.0	78.2
19	NR	私	金沢工業大学	78.9	-
20	18	私	立命館大学	78.8	77.9

国際性

2020順位	2019順位	区分	教育機関	2020スコア	2019スコア
1	1	公	国際教養大学	100.0	100.0
2	3	私	立命館アジア太平洋大学	99.0	94.0
3	2	私	国際基督教大学	97.6	95.4
4	4	私	大阪女学院大学	89.4	86.5
5	15	私	梅光学院大学	86.8	79.3
6	16	私	創価大学	85.4	79.0
7	=6	公	神戸市外国語大学	84.9	85.0
8	13	公	福岡女子大学	83.8	80.3
9	9	私	名古屋外国語大学	83.7	82.7
10	18	私	関西外国語大学	83.2	77.6
11	10	私	長崎外国語大学	82.5	82.5
12	14	国	東京外国語大学	81.9	80.2
13	8	私	上智大学	81.3	83.0
=14	12	私	京都外国語大学	81.1	81.0
=14	5	私	東京国際大学	81.1	85.9
16	17	私	名古屋商科大学	80.6	78.0
17	=6	私	麗澤大学	79.3	85.0
18	19	私	神田外語大学	76.8	76.6
=19	11	私	宮崎国際大学	74.6	82.2
=19	=25	私	早稲田大学	74.6	72.4

日本のランキング指標は4つの分野から成り立っている。「教育リソース」は、学生一人あたりの資金や教員比率などから、どれだけ充実した教育が行われている可能性があるかを見ている。あらゆる教育活動のベースであることから、4分野のうち最も大きな割合を占めている。「教育充実度」は、先に紹介した学生調査と、高校の進路指導教員への評判調査から、学生が在学中に得る経験の質を検証する。「教育リソース」に次ぐ割合を占める分野だ。「教育成果」は、企業人事が卒業生の活躍度合いを基準に、また研究者が教育の質の高さを基準に選んだ大学が高いスコアを得られるしくみだ。

大学の個性が現れる分野別ランキングに注目

THE世界大学ランキング日本版2020 指標解説と分野別ランキング

2020年版は、2019年版の指標が継続して使用されている。指標の内容を再確認したうえで、分野別ランキングを概観する。

指標は前回と変わらずスコアの経年比較が可能

国内外のステークホルダーに対して各大学の価値をより明瞭に発信するために、THEはランキング指標とその割合（比重）を随時見直している。今回は変更がなく【図表2】、前回のスコアとの比較がしやすいものになっている。

ポータルサイトで必要なデータを入力するエントリーの形式、エントリーの除外条件も前回同様だ。可視化された教育力を大学改革に生かすためには、エントリーを継続し、経年比較を行いたい。

【除外条件】
前提として、THEのデータコレクションポータルサイトにデータを入力し、提出したうえで、
▼必須データがそろっていない大学
▼「認証評価」を受けていない大学
▼学生調査結果が50件に達していない大学

指標項目の中で特に注目したいのは、前回からデータソースとして採用されている学生調査だ。「教員と交流する機会がどの程度あるか」「クリティカル・シンキングを身に付ける機会があるか」などの「自分の通う大学を勧めるか」などの質問への回答がスコアに算入されている。今回は前年の3万6881件を大きく上回る4万5017件の回答が寄せられ、有効回答数50に達した大学は278校に上った。前回と合わせた2年分のデータが使用されている。

なおTHEのランキングは数多い大学ランキングの中で唯一、外部法人による監査を受けており、日本版もほかと同様、データの収集・集計プロセスを*1 PWCが監査している。情報収集等においては日本の教育事情をよく知るベネッセグループが支援している。

【図表2】日本版2020の指標

分野	Pillars	項目	Metrics	割合	対象年	データ元	備考
教育リソース Resources		学生一人あたりの資金	学生一人あたりの資金	8%	2018年度	大学入力情報	経常収入/在籍学生数
			学生一人あたりの教員比率	8%		大学入力情報	教員数/在籍学生数
			教員一人あたりの論文数	7%		エルゼビア社	論文数/教員数 ※ScopusよりTHEが抽出
			大学合格者の学力	6%		ベネッセ	ベネッセ総合学力テストにおける大学合格者の学力
			教員一人あたりの競争的資金獲得数	5%		2018年度	大学入力情報
教育充実度 Engagement		学生調査	教員・学生の交流、協働学習の機会	6%	2018-19年	ベネッセ	調査対象: 日本の大学生・大学院生(留学生含む) 有効回答到達校数: 278校 総回答数: 45017件 ※2018年(回答数: 36881件)、2019年の結果の2か年分を使用
			授業・指導の充実度	6%	2018-19年	ベネッセ	
			大学の推奨度	6%	2018-19年	ベネッセ	
			グローバル人材育成の重視	6%	2018-19年	ベネッセ	
教育成果 Outcomes		企業人事の評判調査	入学後の能力伸長	6%	2018-19年	ベネッセ	
			企業人事の評判調査	8%	2018-19年	日経HR	調査対象: 全上場企業と有力未上場企業4779社 回答数: 815社(2019)、929社(2018)の2か年分を使用 調査項目: 過去2年間の新卒採用実績上位10大学の学生のイメージを12項目、各6段階で聞いている
国際性 Environment		外国人学生比率	研究者の評判調査	8%	2018-19年	THE世界大学ランキング	研究者向けの評判調査から日本の大学に関する日本の研究者の回答を抽出
			外国人教員比率	5%	2018年度	大学入力情報	在籍外国人教員数/教員数
			日本人学生の留学比率	5%	2018年度	大学入力情報	日本人学生の留学者数/在籍学生数
			外国語で行われている講座の比率	5%	2018年度	大学入力情報	外国語で行われている講座数/全講座数

*1 PricewaterhouseCoopers. 世界の4大会計事務所の1つ
*2 複数の科やコースを設置している高校には、調査票を複数枚送付した場合もある

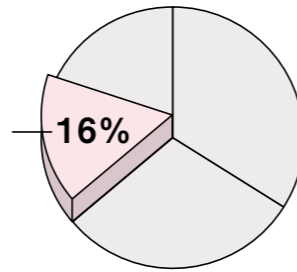
設置区分別TOP 10

国立			公立			私立		
順位	教育機関	スコア	順位	教育機関	スコア	順位	教育機関	スコア
1	京都大学	98.4	1	国際教養大学	71.0	1	慶應義塾大学	93.7
2	大阪大学	97.9	2	大阪府立大学	67.6	2	早稲田大学	93.0
3	九州大学	97.4	3	大阪市立大学	65.6	3	東京理科大学	69.5
4	東北大学	96.6	4	東京都立大学	64.0	4	立命館大学	68.5
5	名古屋大学	96.1	5	神戸市外国語大学	55.6	5	上智大学	66.3
6	筑波大学	94.4	6	兵庫県立大学	54.6	=6	同志社大学	63.7
=7	北海道大学	94.1	7	北九州市立大学	53.0	=6	明治大学	63.7
=7	東京大学	94.1	8	秋田県立大学	52.6	8	金沢工業大学	63.1
9	東京工業大学	92.8	9	高知工科大学	48.6	9	学習院大学	62.6
10	神戸大学	83.4	10	公立はこだて未来大学	47.3	10	芝浦工業大学	61.6

*同順位の場合は、アルファベット順に掲載しています

教育成果
Outcomes

- ▶ 企業人事の評判調査：8%
- ▶ 研究者の評判調査：8%



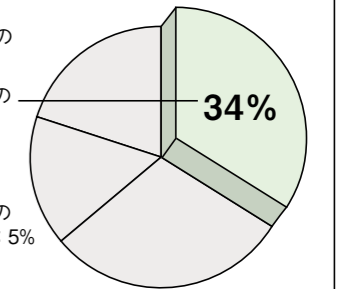
設置区分別TOP 10

国立			公立			私立		
順位	教育機関	スコア	順位	教育機関	スコア	順位	教育機関	スコア
1	東京大学	86.5	1	京都府立医科大学	82.8	1	兵庫医科大学	81.2
2	東京医科歯科大学	84.2	2	札幌医科大学	78.5	2	豊田工業大学	76.8
3	東北大学	84.1	3	奈良県立医科大学	77.3	=3	愛知医科大学	75.7
4	京都大学	83.4	4	福島県立医科大学	76.5	=3	日本医科大学	75.7
5	浜松医科大学	80.6	5	横浜市立大学	69.8	5	大阪医科大学	75.5
6	東京工業大学	80.1	6	名古屋市立大学	68.8	6	東京慈恵会医科大学	73.4
7	滋賀医科大学	78.6	7	大阪市立大学	65.8	7	聖マリアンナ医科大学	72.1
8	名古屋大学	78.2	8	会津大学	63.9	8	関西医科大学	71.7
9	大阪大学	78.0	9	大阪府立大学	61.6	9	産業医科大学	69.6
10	九州大学	76.4	10	富山県立大学	59.8	10	順天堂大学	66.5

*同順位の場合は、アルファベット順に掲載しています

教育リソース
Resources

- ▶ 学生一人あたりの資金：8%
- ▶ 学生一人あたりの教員比率：8%
- ▶ 教員一人あたりの論文数：7%
- ▶ 大学合格者の学力：6%
- ▶ 教員一人あたりの競争的資金獲得数：5%



前回は変動が小さい分野だったが、ソースに変更がないにもかかわらず順位に動きが見られる。教育や研究改革の成果が顕著に現れた大学が増えた、あるいは研究者や企業の教育に対する価値観が変化したことなどが可能性として考えられる。

設置区分別で前回は11位以下だった大学で今回TOP 10入りした大学は、高知工科大学（前回公立15位）、学習院大学（前回私立16位）、芝浦工業大学（前回私立14位）など。

私立9位になった学習院大学（学長室）は、「新規応募件数が50件以上の機関における科研費の新規採択率が2016年度に私立大学1位となり、以来、上位をキープしている。教育力を支える実績として研究者に評価されたのではない」と語る。

またTOP 10圏外では、愛媛大学（前回国立37位、今回26位）、徳島大学（前回国立43位、今回32位）、豊田工業大学（前回私立45位、今回14位）などが大幅ランクアップ。地方大学の健闘は、産学官連携の進展が企業に認められつつあるからかもしれない。

積極的な人材育成策が
ランキングを動かす

優れたST比は日本の大学が持つ強み

教育に活用できる豊富な資金力を持つ大学、教員の研究力や合格者の学力が高く教育環境に優れた大学が上位にランクインしている。今回初めてランキング入りした京都府立医科大学をはじめ、設置区分別TOP 10に入った大学のほとんどは、医療系の学部を擁する大学だ。THEのダンカン氏（P. 8参照）は、驚きを交えつつ、それが日本の特徴的な傾向だと指摘している。一方医療系の学部がないながら例年、設置区分別TOP 10にランクインしている東京工業大学、会津大学、豊田工業大学は、リソースの確保のしかたに特徴があるとさえそうだ。

ダンカン氏が指摘するもう一つの日本の大学の特徴が、「学生一人あたりの教員比率」の高さだ。特に医療系私立大学の強みとなっており、日本医科大学（ST比0.7人）、聖マリアンナ医科大学（0.9人）など教員の方が多い大学もある。

資金力や研究力を高める長期的な視点と、現状のリソースで最大限のパフォーマンスを実現する短期的な視点の両方をもって、教育環境の整備に取り組みたい。

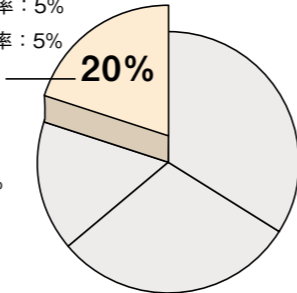
設置区分別TOP 10

国立			公立			私立		
順位	教育機関	スコア	順位	教育機関	スコア	順位	教育機関	スコア
1	東京外国語大学	81.9	1	国際教養大学	100.0	1	立命館アジア太平洋大学	99.0
2	東京工業大学	74.5	2	神戸市外国語大学	84.9	2	国際基督教大学	97.6
3	東北大学	73.9	3	福岡女子大学	83.8	3	大阪女学院大学	89.4
4	北海道大学	72.3	4	会津大学	74.0	4	梅光学院大学	86.8
5	長岡技術科学大学	72.1	5	新潟県立大学	66.7	5	創価大学	85.4
=6	一橋大学	70.9	6	愛知県立大学	64.0	6	名古屋外国語大学	83.7
=6	九州大学	70.9	7	群馬県立女子大学	57.5	7	関西外国語大学	83.2
8	豊橋技術科学大学	70.6	8	北九州市立大学	55.7	8	長崎外国語大学	82.5
9	京都大学	69.1	9	宮崎公立大学	52.1	9	上智大学	81.3
10	広島大学	68.9	10	都留文科大学	48.0	=10	京都外国語大学	81.1
						=10	東京国際大学	81.1

*同順位の場合は、アルファベット順に掲載しています

国際性
Environment

- ▶ 外国人学生比率：5%
- ▶ 外国人教員比率：5%
- ▶ 日本人学生の留学比率：5%
- ▶ 外国語で行われている講義の比率：5%



取り組みの成果が比較的現れやすく、競争が激しい分野だ。特に私立大学にはこの分野を強みとする大学が多い。その中で、梅光学院大学（前回私立11位）、創価大学（前回私立12位）、関西外国語大学（前回私立14位）が設置区分別11位以降からTOP 10入りしている。TOP 10には入らなかったが、芝浦工業大学（前回私立37位、今回25位）、津田塾大学（前回私立41位、今回31位）などの上昇幅が大きかった。

国立大学では、東北大学が前回国立13位から3位にランクアップ。近年は、年間400人を海外に派遣するグローバルリーダー育成プログラムの実施や国際寮の拡充などに力を入れている。この分野のスコアアップが初の総合ランキング1位を獲得した原動力になったと言えるだろう。

2020年は「新型コロナ禍」により、学生や教員の国際流動性を飛躍的に向上させることは、残念ながら難しい状況にある。外国語で行う授業の比率を高める、海外と結ぶオンライン講座を充実させるなど、「国内でできる国際化」に力を入れるチャンスとも言える。

今だからこそ進めたい
人的交流以外の国際化

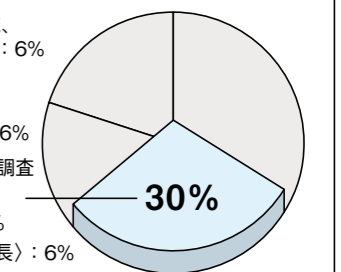
設置区分別TOP 10

国立			公立			私立		
順位	教育機関	スコア	順位	教育機関	スコア	順位	教育機関	スコア
1	筑波大学	84.9	1	国際教養大学	93.0	1	国際基督教大学	90.5
2	北海道大学	83.4	2	会津大学	76.8	2	立命館アジア太平洋大学	84.3
3	東京外国語大学	81.5	3	公立はこだて未来大学	73.0	3	上智大学	82.8
4	東京工業大学	80.8	4	都留文科大学	72.4	4	神田外語大学	82.6
5	東北大学	80.6	5	福岡女子大学	71.9	5	東洋大学	79.5
6	名古屋大学	80.5	6	高知工科大学	71.4	=6	立教大学	79.4
7	九州大学	79.9	7	北九州市立大学	71.1	=6	津田塾大学	79.4
8	東京大学	79.8	8	横浜市立大学	69.9	8	早稲田大学	79.3
9	広島大学	79.0	9	東京都立大学	69.8	9	金沢工業大学	78.9
10	京都大学	78.7	10	神戸市外国語大学	68.3	10	立命館大学	78.8

*同順位の場合は、アルファベット順に掲載しています

教育充実度
Engagement

- ▶ 学生調査（教員・学生の交流、協働学習の機会）：6%
- ▶ 授業・指導の充実度：6%
- ▶ 大学の推奨度：6%
- ▶ 高校教員の評判調査（グローバル人材育成の重視）：6%
- ▶ 入学後の能力伸長：6%



学生の教育充実感は高校教員の評判に影響大

高校教員の評判調査に加え、前回から学生調査をソースとする3項目が追加されている。昨今は卒業後も出身校の高校教員とコミュニケーションをとる学生が多い傾向にあることから、学生が感じる教育充実度はそのまま高校教員の評判につながりやすい。

国立大学は筑波大学が2年連続で国立1位、東京外国語大学が国立5位から3位に順位を上げている。また東京工業大学は国立12位から4位に浮上。博士後期課程まで続く21世紀型のリベラルアーツ教育など、近年の教育改革の成果とさえそう。

設置区分別TOP 10には入っていないが順位を上げた大学としては、秋田大学（前回国立36位、今回32位）、東北学院大学（前回私立49位、今回46位）などがある。東北学院大学（学長室）は、「学生アンケート結果を単に公表するだけでなく、学修意欲喚起に繋がるコメントをつけたり、学生や高校教員から意見を聞く懇話会を設けたりしていることが、授業・指導の充実度や大学の推奨度を高めているのかもしれない」と述べている。